



Daiwa House®
大和ハウスグループ

資料3

公民連携に依る地域における民間建築物の 防災拠点化及び防災協定の促進

2023年5月15日

大和ハウス工業株式会社

常務執行役員 浦川 竜哉

Daiwa House

Contents

- ・物流施設の災害時におけるポテンシャル -----P2
- ・マルチテナント型物流施設における防災拠点化の取り組み（ハード面） -----P3
- ・マルチテナント型物流施設における防災拠点化の取り組み（ソフト面） -----P4～P7
- ・マルチテナント型物流施設（DPL）の災害時支援拠点としての活用について -----P8

マルチテナント型物流施設（DPL）では、建物自体の耐震性を高め、非常用電源を設置するなどテナント企業の**BCP（事業継続計画）**に対応できる仕様を採用しています。



マルチテナント型物流施設（DPL横浜戸塚）

免震構造の採用

免震構造を採用し災害被害を軽減、できるだけ短時間でテナント企業様の事業を再開できるように努めます。



免震ピット
（DPL流山IV）



DKB弾性すべり支承
（独自の技術も研究しています）

防災対策

避難が必要な場合に利用可能なかまどベンチや非常用便槽を備えています。



かまどベンチ



非常用便槽

マルチテナント型物流施設（DPL）では自治体と連携して**安心・安全な地域づくり**を目指し、**防災協定を締結**しています。現在、**全国15の自治体と防災協定を締結**し、建物共用部を地域住民のための一時避難場所として利用するほか、災害時の支援物資の一時保管や集積所として活用することを目的としています。



坂戸市と「災害時等における一時避難施設としての使用に関する協定書」を締結（2023/4/5）



花巻市と「地震等の災害発生時における物資集積協力に関する協定書」を締結（2023/3/15）



宮代町と「災害時等における一時避難施設としての使用に関する協定書」を締結（2023/1/17）



三郷市と「災害時等における一時避難施設としての使用に関する協定書」を締結（2022/9/28）



神奈川県と「災害発生時における物資の保管等に関する協定」を締結（2022/4/15）



千曲市と「災害時等における避難者の受け入れに関する協定」を締結（2022/3/30）



金ヶ崎町と「災害発生時における物資集積協力に関する協定書」を締結（2021/11/12）



前橋市と「地震等の災害発生時における市民生活の支援に関する協定書」を締結（2021/3/25）



北上市と「地震等の災害発生時における物資集積協力に関する協定書」を締結（2021/2/5）



鳥栖市と「地震等の災害発生時における市民生活の支援に関する協定書」を締結（2020/12/10）



流山市と「災害時等における一時避難施設としての使用に関する協定書」を締結（2020/11/11）



花巻市と「地震等の災害発生時における物資集積協力に関する協定書」を締結（2020/7/9）



桑名市と「地震等の災害発生時における市民生活の支援に関する協定」を締結（2020/7/3）



富士市と「地震等の災害発生時における民活支援に関する協定」を締結（2020/6/9）



掛川市と「かけがわ防災パートナーシップ協定書」を締結（2020/3/16）

マルチテナント型物流施設（DPL）では**入居テナント合同の防災訓練**を実施：
自分の身を守る訓練の他、入居テナント同士の連携機会の創出（共助）**災害時備蓄品の設置**、
地域の方々も利用できる共有部（コンビニ、食堂など）を設置、**地域に開けた物流施設を整備**



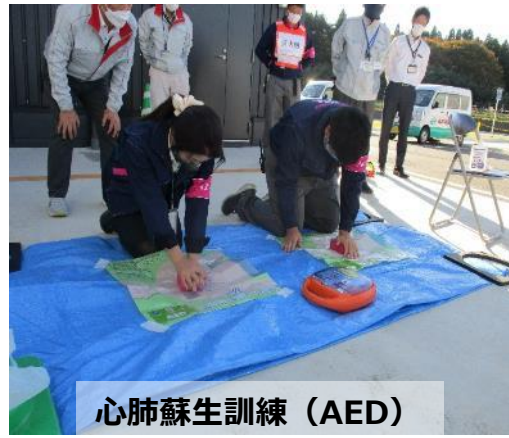
地域住民も利用できる共有部
(左：DPL流山内ラウンジ、中：コンビニ、右：共用部トイレ)



災害備蓄品（1,500食分）



消火栓ホースによる消火訓練
(倉庫内)



心肺蘇生訓練（AED）



消火栓ホースによる消火訓練
(倉庫外)



消火器による消火訓練

入居テナント合同防災訓練の様子

災害時にこそ大切なのは地域のつながりです。普段の事業の中で**地域の方々との共生を大切にし、物流倉庫そのものの開発だけでなく、周辺地域のまちづくりも念頭に置いた開発**を進めています。

◆ DPL流山IVにて「こどもエコ・ワークショップ」を開催しました。

近隣の小学生以下のお子様とその保護者約30名にご参加頂き、「自然を生かしたエコな家を考える」をテーマにワークショップを開催、また「巨大物流施設を身近に」を目的に物流施設への興味関心を持ってもらえるよう、施設の見学会を実施しました。



当社環境部による出張授業



ラウンジでのワークショップの様子



社員もボランティアとして参加



テーマ：
夏涼しい家

素敵な作品が
出来ました



施設見学の様子



施設がとても
大きくてびっくり！

施設見学の様子



施設の食堂でランチ



施設の食堂でランチ

マルチテナント型物流施設は大型な建築物であり、地域のランドマーク的な役割もあることから、**2019年台風19号の際、DPL国立府中にて地域住民の方の避難協力**も行いました。



DPL国立府中（立地）



DPL国立府中（外観）



避難時の車路の様子



避難時のラウンジの様子



台風通過翌朝の多摩川の様子

近隣住民の方が浸水被害を避けるため
自家用車のまま当該施設に避難した。
2～5階の車路には約100台の乗用車が
避難、施設内ラウンジでは約70名の方が
避難し、給湯室やWC、仮眠スペースとして
利用した。

地域住民の方の**一時避難所**として活用いただくのはもちろん、行政からの**支援物資の受け入れ**や**各地の避難所に分配するための2次拠点**として利用します。

NHK NEWS WEB
広島 NEWS WEB

広島市と防災訓練を実施しました
(DPL広島観音)

震度6強想定 防災の日を前に訓練

08月30日 18時11分



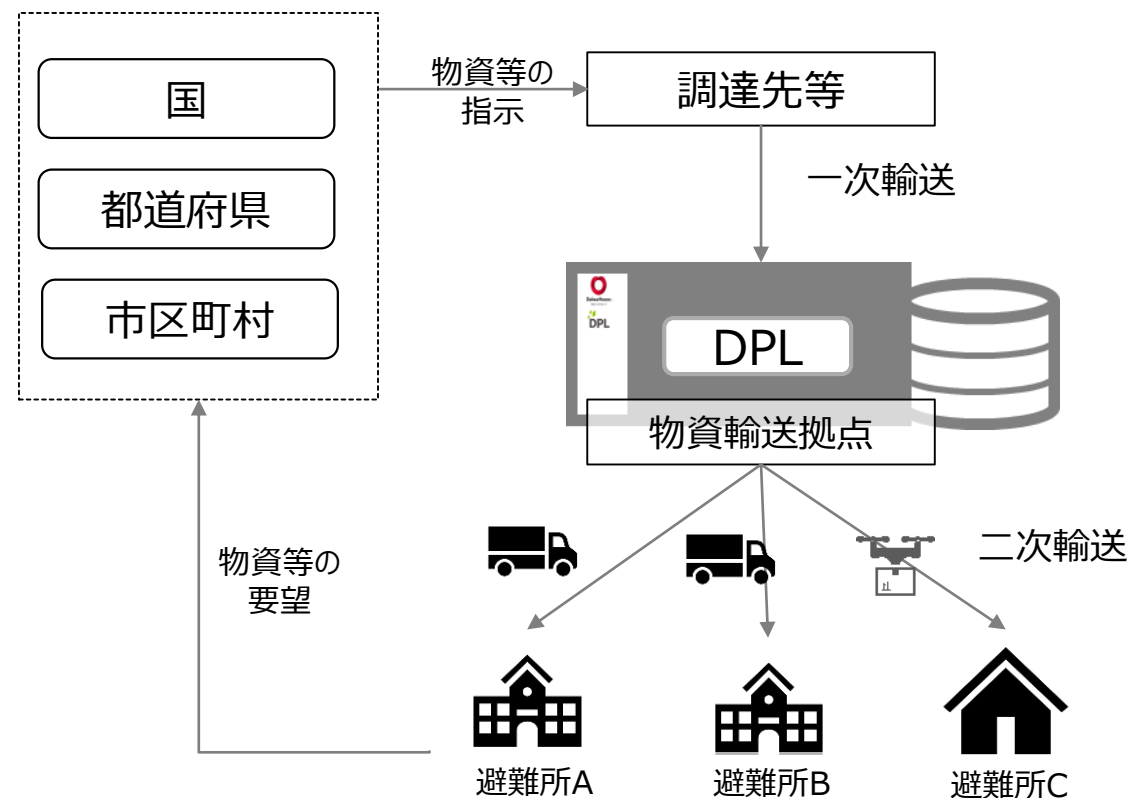
9月1日の防災の日を前に震度6強の地震が発生し支援物資の受け入れの手順を確認したり車や住宅に閉じ込められた人を救助したりする訓練が広島市で行われました。

訓練は広島市内の3か所の会場で内容を変えながら行われ消防や警察、自衛隊などおよそ200人が参加しました。

このうち午前中は広島市西区の物流施設で震度6強の地震が発生してから3日後に国からの支援物資が運ばれてきたという想定で物資を仕分けて市内の避難所に送る訓練が行われました。

参加者たちは届いた食料品や毛布などを送り先の避難所ごとに仕分けようとトラックに積み込んでいく手順を確認していました。

※2022.8.30 NHK news WEB より



【物資輸送拠点としての利活用】



Daiwa House®

大和ハウスグループ

ありがとうございました。

www.daiwahouse.co.jp